

(済々黌高等) 学校 令和7年度(2025年度) 学校評価表

<p>1 学校教育目標</p> <p>本黌建学の精神である三綱領を根幹とし、徳育・体育・知育の三育併進、文武両道の気風を尊重し、一つ一つの教育活動を着実に実践し学校の活性化を目指す。生徒を育成するに当たっては</p> <p>(1) 他者への思いやりを大切にし、社会に貢献する生徒の育成</p> <p>(2) 心身ともに逞しく豊かな人間性を備えた生徒の育成</p> <p>(3) 志を高く持ち、自ら求めて学ぶ生徒の育成</p> <p>を目指す。</p>

<p>2 本年度の重点目標</p> <p>(1) 社会に貢献できる生徒(グローバルリーダー)の育成</p> <p>(2) 生徒指導の充実</p> <p>(3) 心身の健康の保持増進及び安全教育の徹底</p> <p>(4) 学力の向上</p> <p>(5) 進路指導の強化</p> <p>(6) グローバルキャリア部による探究活動の推進</p>

評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	建学の精神の継承	教育活動中での三綱領の理念の実践	三綱領の精神を理解し、自らその実践に励む生徒を育成する。	・学校全体で取り組み、様々な教育活動の場で折に触れ意識させる。	3.4 A	「三綱領」の精神は、学校の教育活動や行事を通じて浸透していくものである。今年度は、教育活動や行事等で触れる機会が増えたことで、昨年以上の高評価につながった。
	探究活動の充実	グローバル人材の育成	総合的な探究の時間を中心として、職員ゼミや高大連携(英語研修)、海外研修などを活用し、探究活動に取り組む。	・各学年の企画に基づき、講演、研修、ディスカッション、レポート作成に取り組み、成果を発表する。 ・校外での成果発表に積極的に応募する。	3.4 A	生徒それぞれの興味・関心に応じて、各種ミニ講演会の実施や、校外の研修・発表会への参加など生徒の主体性を重視した探究活動が増えてきた。夏休みの英語研修、海外研修など英語を使った活動は特に参加者が急増している。2年生の課題研究を進路意識の向上に繋げることがさらに重要。
	学校の活性化	学校行事の工夫と改善	生徒が活躍する機会を与え、魅力ある学校づくりを目指す。生徒と向き合う時間を確保する。	・運営委員会を定期的に実施し、検討・協議の機会を確保する。 ・PDCAサイクルを機能させ、年度内の改善に努める。	3.3 A	運営委員会を定期的に開催し、各部門で情報共有・連携を図ることができたことで教育活動や行事等の円滑な運営につながった。年度末反省をもとに、次年度の取組についても更に必要な工夫・改善を図りたい。
	職員の資質向上	研修の充実	研修を通じて職員の資質向上に取り組む。	・各部署で校内研修を立案し、課題解決に対し学校全体で取り組む。 ・PLANT等を活用して様々な研修に参加し、自己に求められている資質向上に努める。	3.3 A	各部署で計画的に必要な研修を実施することができたため高評価につながった。PLANTの活用、研修の方法や時間の設定など改善点を次年度に生かしたい。

	安全管理	施設・設備の保守・点検	施設面での危険箇所の改修に迅速に対応する。	・全職員で定期的に安全点検を実施し、危険箇所は速やかに補修、改善、または使用禁止の措置を講じる。	3.3 A	安全点検で指摘があった所は必要に応じて迅速に対応し改善することができた。
	言語活動の充実	グローバル社会をリードする人材育成のための言語活動の充実	論理的思考力、課題解決力養成に向けた言語活動の充実を推進するための授業改善に取り組む。	・総合的な探究の時間等を活用し、論理的思考力を伸ばす論文指導を推進する。 ・各教科で、課題解決型の授業や考えを発表する場面の設定などの授業改善に繋げる。	3.2 A	各教科、授業の要所で言語活動を取り入れたり、定期考査問題の工夫をしたりすることにより、論理的思考力・課題解決力の養成を行った。また、総合的な探究の時間には、プレゼンテーション型のポスターセッションなども実施されており、次年度も継続して生徒の能力育成に繋げていく。
	業務改善	職員の負担軽減	I C Tの多様なツールを活用して校務のスリム化に取り組む。	・各種調査やアンケート等の集計、会議等にI C Tを積極的に活用する。	3.2 A	各種アンケートや調査などにFormsを活用することで集計業務の負担を減らすことができた。運営委員会や職員会議もクロムブックを活用することで資料印刷・配付の負担も大幅に削減できた。学校行事でもリモートで行い、時間短縮を図った。
	働き方改革	職員の健やかな心身の維持	職員の平均年休取得日数10日以上、長期休暇中の特休取得率を100%にする。	・休暇を取得しやすい環境を整える。 ・学校閉庁日を4日間設定する。	2.8 B	夏季休業中の学校閉庁日は4日間設定し、夏季特別休暇の取得率は100%と昨年よりも増加し職員のリフレッシュにつながった。また、職員(常勤)の平均年給取得日数は12.1日と目標を上回った。しかし、評価が昨年よりも0.1ポイント下がったのは、多忙な業務に追われ、年休が取りづらい状況にあると感じている職員が約3割いることが要因の一つと考えられる。
学力向上	基礎学力の充実	学習時間の確保	平日2時間以上の質の高い家庭学習時間を確保させる。	・帰宅時間や睡眠時間等の生活習慣の見直しをさせる。キャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持たせることで主体的に学習に取り組めるよう指導する。家庭学習時間調査の結果を面談で活用できるようデータ提供や模試情報とのリンクなど有用なフィードバックを行う。	2.8 B	昨年度と同評価に留まったが、今年度も家庭学習時間調査結果をタイムリーに面談に活用できるようにしている。一朝一夕で変わるものではないかもしれないが、今後と学習習慣と学力向上の相関などに用いていけるようデータの累積・分析を進めていく。生徒を主体的な学習に導く授業改善、学習評価についても全職員継続して進めていく。

	分かる授業・考えるの創造	教師の指導力の向上	生徒の学習意欲を高める指導を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会や公開授業を充実させることで生徒が主体的に考える授業を実践し、思考力や判断力を向上させる授業を実践する。 ・業務のDX化などの改善を通して、教材研究に費やす時間の確保につなげる。 	3.1 A	社会に開かれた学校を目指し、公開授業を開催した。この期間に各教科で研究授業も実施してもらい授業力向上の一助とした。次年度以降も積極的に授業改善に努めていく。「すぐーる」ならびに自動採点システムの活用定着は、職員の負担軽減に繋がっている。
キャリア教育(進路指導)	生徒の進路目標の実現	生徒の進路意識高揚に向けた取組の実践	進学資料の提示だけでなく学部学科説明会や大学出張講義、職業体験(SAP)や職業別講演会などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に刺激を与え、将来のキャリアを主体的に考え、自らの可能性にチャレンジする生徒を育む。 ・面談指導を充実させ、生徒理解と信頼関係の構築に努め、適切な進路指導に繋げる。 	3.3 A	各学年で進路意識を高める教育活動の取り組みが結実した。進路実現のために生徒たちは積極的にチャレンジした。面談において生徒との信頼関係も構築することができた。
		教師の教科指導力の向上	難関大入試に対応しうる教科指導力の向上のための教材研究の徹底、及び魅力的な授業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会と連携し、指導力向上と指導法の継承に努める。 ・校内模試の更なる充実を図り、結果をその後の指導に活用する。 ・大学入試問題の分析を積極的に行い、自己研鑽を積む。 ・ICTの積極的な活用により、職員の授業力向上及び生徒の学力向上を図る。 	3.2 A	教科会で、定期考査や校内模試などを検討することで、適正で弁別ができる作問能力が高まった。大学入試問題分析の充実により、入試傾向の流行をつかむことができ、生徒に対し適切な受験指導ができた。 ICTを利用し、より具体的に課題解決することができ、授業力向上につながった。
		教師の進路指導力の向上	3年間の進路ストーリーを計画し、進路指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での進路に関する職員研修や学力検討会、進路検討会を充実させる。 	3.3 A	職員研修や検討会等で受験情報を共有することができ、進路指導に活かすことができた。
生徒指導	濟々學生としての矜持を持たせる指導	徳育の推進	「他者を思いやる心」の育成を図り、社会的倫理観を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会行事等において協力し支え合う姿勢を養う。 ・教育相談部と連携し、いじめを未然に防ぐ取組を行う。 	3.2 A	各種行事や集会等の機会を捉え、いじめやSNS等について講話するとともに、部活動のリーダーを対象に、人間関係のあり方について研修を行った。今後も引き続き他者を思いやる心の醸成を図る。
		基本的な生活習慣と自己規律の確立	時間の厳守や端正な服装の徹底など、基本的な生活習慣を確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で各学期に登校指導を実施する。 ・全職員共通理解のもと、一貫した指導を行う。 	3.1 A	同心会生活安全委員会と連携して年5回の登校指導を実施した。日常の場面においては、制服やカーディガンのボタン留めで指導を要する生徒は減少している。

	安全教育の徹底	交通ルールの遵守と安全意識の高揚	社会のルールや規則等を遵守するとともに、交通安全意識を高める取組を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関と連携し、実技講習会や交通講話を実施する。 生徒会活動を充実させ、自転車乗車時の一時停止励行やヘルメット着用などの交通安全意識を高める活動を促す。 	3.3 A	本覺自転車通学生の本覺周辺でのヘルメット着用率は高い。学校から離れると着用していない生徒が稀にいたが、現在は見かけなくなった。また、学校周辺10箇所の交差点で交通委員による一時停止運動等の啓発運動を実施した。今年度の交通事故は1月末時点で19件であり、昨年度よりも減少した。
人権教育の推進	豊かな人権感覚を身に付けた生徒の育成	知識的側面からの取組	人権教育における学習指導の工夫と改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒及び職員に対し、校外研修への参加を促す。 人権教育LHRや講演会を計画的に実施する。 	3.2 A	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修案内を生徒、職員に周知し、校外研修への参加につなげた。 今年度は2年生で外部講師を招き、いじめ予防授業と人権LHR（水俣病問題）を行った。
		価値的・態度的側面からの取組	生徒一人一人の心の内面に働きかけるような指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 面談週間を計画することで面談を充実させ、生徒が相談しやすい環境を作る。 生徒理解、教育相談の職員研修を定期的実施する。 人権教育推進委員会を適宜実施する。 	3.4 A	<ul style="list-style-type: none"> 面談週間、自己肯定感アンケート、心のアンケートを実施し、生徒の内面の把握に努めた。 生徒理解研修や教育相談研修を行い、職員の資質向上に努めた。 人権教育推進委員会では、今年度の活動状況の検討を行い、来年度の活動計画を策定した。
	命を大切にす心を育む指導	自身や他人の命を大切にしようとする意識の涵養	生きる喜びを実感し、苦しい思いをしている人に寄り添うことができるよう指導を行い、実践ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 読み物資料の配付や講師による講話、教師からの呼びかけなどを実施する。 生徒の感想を次の指導にフィードバックする。 	3.2 A	<ul style="list-style-type: none"> 6月の「心のきずなを深める月間」を中心に職員・生徒会から呼びかけを行うとともに、生徒に人権・いじめ防止に関する資料を読んでもらい、意識向上を図った。
いじめの防止等	いじめの未然防止	積極的な啓発活動の実施	いじめをしない・させない・許さない態度を堅持させる指導を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ストレス対処教育のエンカウンターを実施する。 スクールロイヤーによるいじめ予防授業を実施する。 生徒会を中心にした啓発活動を行う。 いじめ防止対策委員会を毎学期行い、生徒の状況の把握と対応に努める。 	3.3 A	「心のきずなを深める月間」の取組やいじめ予防授業など様々な啓発活動を実施したが、「心のアンケート」で、生徒の一部にいじめを許容する考え方があったことが分かった。啓発活動の内容の検討を行い、より効果的なものにしていくことが必要である。
	いじめへの迅速な対応	いじめの早期発見・早期解決と再発防止	いじめまたはいじめと疑われる事態が発生した場合には、いじめ防止基本方針に従い、被害・加害双方の生徒	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の「心のアンケート」や面談を通して、いじめの実態把握と早期発見に努める。 いじめ防止対策委員会を開催し、 	3.4 A	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に続き「心のアンケート」でデジタル入力を実施し、入力・集計の省力化を図ったが、入力時に通信障害が起こった。

			に速やかに対応し、指導を行う。	問題解決に努める。 ・情報を集約し、職員間の共通理解を図るとともに、事後も指導を継続する。		・いじめが疑われる事案を発見した場合は、速やかに学年会・生徒指導部などと連携しながら、効果的な対応につなげることができた。
健康教育	健康で安全な生活を送るための実践力の育成	生徒の心身の健康管理と傷病予防	生徒が自身の健康状態を把握、管理する力を育成し、傷病予防を意識した生活を送れるよう指導を行う。	・毎日の健康観察、生徒保健委員会による「保健だより」の発行や時季に応じた資料の掲示により、傷病予防を啓発する。	3.4 A	感染症流行期や学校行事前にクロムブックを活用した健康観察を重点的に実施し、生徒の自己管理能力の育成を図るとともに各行事の安全な実施につなげることができた。
			生徒の心身の健康管理、日常の健康観察を行う。	・心と体の健康調査や、保健室来室状況から実態把握に努め、職員間で情報を共有し対応する。	3.4 A	心と体の健康調査結果や保健室来室状況等の実態を職員会議等で共有して迅速な対応を図り、組織的な対応を継続した。
	教育環境の整備	清掃指導の徹底と環境保全の意識や奉仕の精神の育成	生徒・職員全員で毎日の清掃を実施し、校内の環境整備を行う。	・学校環境衛生検査及び毎月の安全点検を実施する。 ・美化委員による校内環境の整備を行う。	3.1 A	学校環境衛生基準を維持し、良好な学習環境を維持した。今後は清掃用具の適切な補充や点検を行い、環境美化に対する意識向上を図っていく。
図書館教育	読書習慣の形成	読書指導の推進	情報提供、時間の設定により、読書意欲を高め、図書館利用を促し、読書習慣を身につけさせる。	・広報誌の充実。クロムブックを活用した情報発信と利便性の向上をはかる。 ・年2回「朝の読書」週間を実施する。 ・学期ごとに2,3回特別展示を行う。	3.2 A	・クロムブックを活用して「図書館便り」など広報活動を行った。広報活動を更に周知させることが今後の課題である。 ・「朝の読書週間」や特別展示を実施できた。来年度は、「朝の読書週間」の実施時期を1週間遅らせて、生徒が本を選ぶ時間を確保したい。
	学習活動支援の充実	蔵書や設備の充実	資料の充実と環境整備をすすめる。	・利用しやすい館内の展示を工夫する。 ・教科や各部との連携を図り必要な資料を収集する。	3.2 A	・月ごとの特集や新着本の案内など展示を工夫した。 ・教科と連携を図り、「コラボ特集」を実施した。探究活動で参考になる書物を増やしたい。
保護者との連携	同心会(PTA)と学校の積極的な連携・協力	連携を深め、円滑な校務運営を行うための情報提供	保護者への頻繁な情報提供に努め、本校教育への理解と協力を得る。	・学校及び同心会HPと会報「同心」を充実させるとともに、学校からの情報提供に「すぐーる」等を活用する。	3.4 A	情報企画部との連携により、学校HPの更新頻度(2割増)と質を向上させた。その結果、保護者アンケートの肯定評価は90%に達した。今後も各部署と協力し、迅速・正確な情報発信に努める。

		P T A 活動の活性化	学校行事等への参加及び協力を促すと同時に、各種委員会活動を活性化させる。	・行事の案内や協力要請等、適切かつ迅速に行う。 ・年に7回開催される同心会役員会において保護者との共通理解を図り、各種委員会活動を支援する。	3.3 A	同心会役員を中心に学校行事や委員会活動が活性化している。今後は役員の負担軽減や学校側の働き方改革を考慮し、活動の効率化と活性化の両立を図ることが課題である。
地域連携 (コミュニティ・スクールなど)	学校運営協議会(総合型)委員との連携・協力	連携の深化 情報の共有	学校運営協議会委員と学校との情報共有に努め、理解と協力を得る。	・総合型コミュニティ・スクールの円滑な運用を図る。 ・地域と連携した行事や活動をできる限り実施する。	3.2 A	今年度も2回学校運営協議会を開催し、情報共有を図りながら、地域に根ざした学校運営に向けて協力体制を築くことができた。今後は地域と連携した行事なども更に実施したい。

4 学校関係者評価	
<p>(1) 学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変頑張っておられます。感心しております。 ・現在提示されている資料には、教職員による学校評価結果のみが示されています。生徒や保護者による学校評価の結果も合わせて提示されると、三者の視点を比較でき、学校評価の内容がより活かされるものになると考えます。 ・学校評価につきましては、このところ施設の改修が続いて、学校運営もご苦労が多かったのではないかと推察いたします。学習環境が整備されることで、生徒の皆さんの学力向上により影響があればよいと思います。 ・『働き方改革』について評価が下がって残念です。年休を取りづらい状況を変えるには、全職員の意識改革が必要と考えます。特に取りづらいと感じている3割の方にヒアリング調査などを行い、働きやすい環境を整えていただきたい。 ・来年度も引き続き、働き方改革に取り組み、職員のワークライフバランスが向上されることを期待いたします。 <p>(2) 次年度への課題・改善への方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難関大入試に関して、熊高と開きがあるように思います。よろしく御指導の程を。 ・ヘルメットの着用状況について、子飼橋交差点にて見守りをしてはいますが、大江に渡る生徒達は前かごに入れているのが見られる。 ・生物部の研究発表を参観しました。研究に真摯に取り組む生徒の皆さんの姿が大変印象的で、日本の未来に明るい希望を感じました。 ・定員の減少が学校活動にどう影響していくか心配です。(部活動など) 	

5 総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・29の評価項目のうち23項目で前年度評価を上回り、概ね肯定的回答が多かった。 ・学校経営については、概ね高評価が多かった。特に「安全管理」と「言語活動の充実」は前年度を0.2ポイント上回り大きな改善が見られた。一方、「働き方改革」については夏季特別休暇や年休取得など目標を上回ったものの、業務の平準化が十分できていないと感じる先生が一定数いた。 ・学力向上については、分かる授業の実践は昨年以上の高評価であったにもかかわらず、生徒の学習時間の確保について課題が見られた。 ・進路指導については、各学年の進路意識を高める取組が功を奏し、概ね高評価であった。 ・生徒指導については、3項目とも評価が昨年度よりも上回った。ヘルメット着用などの交通ルールの遵守や思いやりの心を育てるなどの徳育の推進は、健全な心の育成につながった。 ・人権教育の推進については、心のアンケートや人権教育研修などを通して、豊かな人権感覚と命を大切にすることを醸成することに効果的につながったと考えられる。 ・いじめ防止等の取組についても、心のきずなを深める月間や心のアンケートなどを通じて、いじめの早期発見と組織的取組ができた。 ・健康教育については、生徒の心身の健康管理と傷病予防のため、保健便りやクロムブックによる健康観察などを実践し、高評価につながった。 ・図書館教育については、図書館便りの発行、朝の読書週間や特別展示などを取り組み、図書活動の充実に努めた。 ・保護者との連携では、情報企画部と連携し、保護者や外部への情報提供に努め、高評価を得た。P T A 活動も同心会役員を中心に活性化し、行事への参加も積極的であった。 ・地域連携については、学校運営協議会や避難所運営委員会などと積極的に情報共有を行い、高評価となった。 	

6 次年度への課題・改善方策

- ・学校経営の、特に働き方改革については、「はやめにかえろう期間」や学校閉庁日などを設定し、さらに休暇の取りやすい環境作りに努めたい。
- ・学力向上の、特に基礎学力の充実については、家庭学習時間調査結果を面談などで生徒にフィードバックすることで、学習の習慣化や進路目標に応じた主体的な学びにつながるよう指導したい。
- ・キャリア教育・進路指導の項目では、難関大対策を学校全体で組織的・系統的に取り組み、生徒の進路実現にさらに寄与したい。
- ・生徒指導の安全教育の徹底では一部の生徒において服装の乱れやヘルメット着用の不備、一時停止違反など交通違反の指摘を受けることがあったので普段からの生徒の意識の高揚を図りたい。
- ・人権教育の推進については特にいじめの防止等については、生徒がいじめを容認することがないように研修等を充実し、生徒の豊かな人権感覚を醸成したい。
- ・健康教育については、清掃指導を徹底し清掃用具を整備することでさらなる環境美化に努めたい。
- ・図書館教育では、利用しやすい図書館環境の整備や、教科と連携した取組を充実することで生徒の読書離れに少しでも歯止めをかけたい。
- ・保護者や地域との連携では、HPや会報で情報発信しつつ、学校行事や学校運営協議会などを活用し開かれた学校作りに努めたい。

令和7年度 熊本県立済々黉高等学校 学校評価アンケート(生徒)結果 (案)

令和7年12月24日現在

I 学校全般に関して

番号	評価項目	全体 (回答件数1197件)					1年 (回答件数409件)					2年 (回答件数399件)					3年 (回答件数389件)				
		4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均
1	本覺では、三綱領に基づいた教育が行われている。 (昨年度)	58.6%	36.9%	3.4%	1.1%	3.53 (3.49)	53.1%	41.3%	4.6%	1.0%	3.46 (3.49)	65.2%	30.8%	3.0%	1.0%	3.60 (3.39)	57.3%	38.8%	2.6%	1.3%	3.52 (3.60)
2	本覺の生活の規律(挨拶・服装・交通指導等)についての指導は適切である。 (昨年度)	56.9%	34.8%	5.4%	2.9%	3.46 (3.40)	53.3%	38.4%	5.6%	2.7%	3.42 (3.41)	63.7%	30.3%	4.3%	1.8%	3.56 (3.28)	53.5%	35.7%	6.4%	4.4%	3.38 (3.51)
3	本覺では、3年間を見通した充実した進路指導が行われている。 (昨年度)	67.8%	28.0%	3.5%	0.8%	3.63 (3.58)	68.5%	27.9%	2.7%	1.0%	3.64 (3.60)	73.2%	23.3%	3.0%	0.5%	3.69 (3.54)	61.2%	33.2%	4.9%	0.8%	3.55 (3.60)
4	本覺の先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる。 (昨年度)	66.5%	29.1%	3.6%	0.8%	3.61 (3.52)	64.3%	30.1%	4.4%	1.2%	3.57 (3.49)	68.7%	27.1%	3.3%	1.0%	3.63 (3.47)	66.3%	30.3%	3.1%	0.3%	3.63 (3.61)
5	本覺では、一人一人の人権を尊重した教育が行われている。 (昨年度)	61.5%	33.2%	3.9%	1.4%	3.55 (3.43)	62.8%	32.0%	3.7%	1.5%	3.56 (3.41)	63.9%	30.3%	5.0%	0.8%	3.57 (3.35)	57.3%	37.5%	3.1%	2.1%	3.50 (3.53)
6	本覺では、健康教育に対する取り組みが充実している。 (昨年度)	60.2%	34.3%	4.2%	1.4%	3.53 (3.46)	60.4%	35.5%	3.4%	0.7%	3.56 (3.46)	62.7%	31.1%	4.8%	1.5%	3.55 (3.37)	57.1%	36.5%	4.4%	2.1%	3.49 (3.54)
7	本覺では、読書に親しむ適切な教育が行われている。 (昨年度)	37.1%	38.5%	21.0%	3.4%	3.09 (3.03)	35.9%	41.8%	19.3%	2.9%	3.11 (2.95)	39.1%	37.1%	20.1%	3.8%	3.12 (2.92)	36.0%	36.8%	23.7%	3.6%	3.05 (3.22)
8	本覺では、学校行事(運動会、文化祭、クラスマッチ等)は充実したものになっている。 (昨年度)	82.1%	15.6%	1.6%	0.7%	3.79 (3.70)	82.4%	14.9%	2.4%	0.2%	3.79 (3.71)	86.2%	12.8%	0.3%	0.8%	3.84 (3.61)	77.4%	19.5%	2.1%	1.0%	3.73 (3.79)

II 済々黉生として

番号	評価項目	全体					1年					2年					3年				
		4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均
9	あなたは、部活動や学校行事に積極的に参加している。 (昨年度)	77.5%	18.9%	2.8%	0.8%	3.73 (3.70)	78.7%	17.4%	3.2%	0.7%	3.74 (3.70)	78.9%	16.0%	3.3%	1.8%	3.72 (3.66)	74.6%	23.7%	1.8%	0.0%	3.73 (3.72)
10	あなたは、本覺の掲げる三綱領に基づき行動している。 (昨年度)	48.3%	42.0%	8.0%	1.7%	3.37 (3.30)	41.3%	45.2%	10.0%	3.4%	3.24 (3.19)	52.6%	38.6%	7.8%	1.0%	3.43 (3.27)	50.9%	42.4%	6.2%	0.5%	3.44 (3.44)
11	あなたは、学校生活全般において、始業時間や下校時間など時間を守っている。 (昨年度)	75.4%	20.4%	3.2%	1.0%	3.70 (3.67)	76.0%	20.8%	2.2%	1.0%	3.72 (3.68)	77.4%	18.0%	2.8%	1.8%	3.71 (3.59)	72.5%	22.6%	4.6%	0.3%	3.67 (3.74)
12	あなたは、進んで掃除や係の仕事を実行している。 (昨年度)	65.3%	30.4%	3.8%	0.4%	3.61 (3.60)	59.7%	35.0%	4.9%	0.5%	3.54 (3.54)	68.9%	28.1%	2.3%	0.8%	3.65 (3.58)	67.4%	28.3%	4.4%	0.0%	3.63 (3.69)
13	あなたは、自ら進んで挨拶・会釈をしている。 (昨年度)	70.2%	27.7%	1.8%	0.4%	3.68 (3.64)	67.7%	29.8%	2.0%	0.5%	3.65 (3.6)	72.7%	25.3%	1.3%	0.8%	3.70 (3.65)	69.9%	28.0%	2.1%	0.0%	3.68 (3.67)
14	あなたは、服装(制服)を正しく着用している。 (昨年度)	75.4%	22.6%	1.2%	0.8%	3.73 (3.65)	81.9%	15.6%	1.2%	1.2%	3.78 (3.72)	76.9%	21.3%	0.8%	1.0%	3.74 (3.58)	66.6%	31.6%	1.5%	0.3%	3.65 (3.65)
15	あなたは、交通規則を守っている。 (昨年度)	78.8%	20.0%	0.5%	0.8%	3.77 (3.67)	79.7%	18.3%	1.2%	0.7%	3.77 (3.68)	83.2%	15.8%	0.0%	1.0%	3.81 (3.59)	73.0%	26.2%	0.3%	0.5%	3.72 (3.74)

4 : そう思う

3 : どちらかといえば、そう思う

2 : どちらかといえば、そう思わない

1 : そう思わない

令和7年度 熊本県立済々黉高等学校 学校評価アンケート(保護者)結果 (案)

令和7年度12月24日現在

番号	評価項目	全体 (回答数1031件)					1年 (回答数361件)					2年 (回答数353件)					3年 (回答数317件)				
		4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均
1	本黉では、三綱領に基づいた教育が行われている。 (昨年度)	47.6%	48.7%	2.7%	1.0%	3.43 (3.42)	44.6%	51.5%	3.0%	0.8%	3.40 (3.41)	47.0%	49.3%	2.8%	0.8%	3.42 (3.35)	51.7%	44.8%	2.2%	1.3%	3.47 (3.50)
2	本黉生徒には、「問題解決に挑む知的好奇心」が育っている。 (昨年度)	39.0%	54.0%	6.2%	0.8%	3.31 (3.28)	33.5%	60.1%	5.3%	1.1%	3.26 (3.21)	38.5%	53.5%	7.4%	0.6%	3.30 (3.25)	45.7%	47.6%	6.0%	0.6%	3.38 (3.39)
3	本黉では、生徒の進路希望状況に応じた教育課程(文系・理系の教科・科目)が設定されている。 (昨年度)	58.3%	37.0%	4.0%	0.8%	3.53 (3.47)	54.8%	41.0%	3.3%	0.8%	3.50 (3.43)	60.6%	35.4%	3.7%	0.3%	3.56 (3.45)	59.6%	34.1%	5.0%	1.3%	3.52 (3.52)
4	本黉では、生徒の興味・関心を引き出すような授業の内容や教え方の工夫をしている。 (昨年度)	31.7%	56.7%	10.7%	0.9%	3.19 (3.16)	26.3%	60.9%	11.9%	0.8%	3.13 (3.08)	31.7%	56.4%	10.8%	1.1%	3.19 (3.11)	37.9%	52.4%	9.1%	0.6%	3.27 (3.30)
5	本黉では、3年間を見通した充実した進路指導が行われている。 (昨年度)	47.5%	44.1%	7.0%	1.4%	3.38 (3.36)	44.3%	48.2%	6.6%	0.8%	3.36 (3.35)	45.6%	45.9%	7.1%	1.4%	3.36 (3.38)	53.3%	37.5%	7.3%	1.9%	3.42 (3.36)
6	本黉では、面接指導(2者面談、3者面談)が適切に実施されている。 (昨年度)	52.9%	41.6%	4.8%	0.8%	3.47 (3.40)	45.2%	49.6%	5.0%	0.3%	3.40 (3.33)	48.4%	46.5%	4.5%	0.6%	3.43 (3.39)	66.6%	27.1%	4.7%	1.6%	3.59 (3.50)
7	本黉生徒は、自ら進んで挨拶・会釈をする。 (昨年度)	39.2%	48.9%	10.9%	1.1%	3.26 (3.21)	39.6%	48.8%	11.1%	0.6%	3.27 (3.17)	37.7%	49.6%	10.8%	2.0%	3.23 (3.20)	40.4%	48.3%	10.7%	0.6%	3.28 (3.27)
8	本黉生徒は、服装(制服)を正しく着用している。 (昨年度)	50.0%	45.6%	4.1%	0.3%	3.45 (3.43)	50.4%	46.8%	2.5%	0.3%	3.47 (3.43)	48.2%	46.2%	5.4%	0.3%	3.42 (3.37)	51.7%	43.5%	4.4%	0.3%	3.47 (3.49)
9	本黉生徒は、交通規則を遵守している。 (昨年度)	31.6%	59.6%	8.1%	0.7%	3.22 (3.16)	35.7%	56.8%	7.2%	0.3%	3.28 (3.20)	28.6%	62.6%	7.9%	0.8%	3.19 (3.11)	30.3%	59.3%	9.5%	0.9%	3.19 (3.18)
10	本黉生徒は、始業時間や下校時間を守っている。 (昨年度)	41.3%	53.9%	4.3%	0.5%	3.36 (3.32)	43.8%	53.2%	2.8%	0.3%	3.40 (3.34)	39.4%	54.4%	5.9%	0.3%	3.33 (3.25)	40.7%	54.3%	4.1%	0.9%	3.35 (3.37)
11	本黉では、生徒一人一人の人権を尊重した教育が行われている。 (昨年度)	37.7%	53.9%	6.8%	1.6%	3.28 (3.23)	34.9%	56.2%	6.9%	1.9%	3.24 (3.22)	34.6%	55.8%	8.8%	0.8%	3.24 (3.19)	44.5%	49.2%	4.4%	1.9%	3.36 (3.27)
12	本黉では、交通安全に関する適切な指導が行われている。 (昨年度)	36.3%	55.3%	7.8%	0.7%	3.27 (3.19)	36.6%	56.0%	6.9%	0.6%	3.29 (3.18)	34.0%	55.8%	9.6%	0.6%	3.23 (3.17)	38.5%	53.9%	6.6%	0.9%	3.30 (3.23)
13	本黉では、学校行事は充実したものになっている。 (昨年度)	65.6%	31.4%	2.7%	0.3%	3.62 (3.55)	66.2%	31.3%	2.2%	0.3%	3.63 (3.55)	61.8%	34.3%	3.7%	0.3%	3.58 (3.47)	69.1%	28.4%	2.2%	0.3%	3.66 (3.64)
14	本黉では、保護者との連携が保たれ、PTA活動は活発に行われている。 (昨年度)	45.8%	47.2%	6.3%	0.7%	3.38 (3.35)	39.3%	52.9%	7.2%	0.6%	3.31 (3.33)	43.9%	48.2%	7.6%	0.3%	3.36 (3.32)	55.2%	39.7%	3.8%	1.3%	3.49 (3.41)
15	本黉では、保護者への情報提供が十分行われている。 (昨年度)	39.1%	48.9%	10.1%	1.9%	3.25 (3.24)	38.0%	49.6%	10.5%	1.9%	3.24 (3.19)	32.9%	52.7%	12.7%	1.7%	3.17 (3.23)	47.3%	43.8%	6.6%	2.2%	3.36 (3.32)
16	本黉に自分の子どもを入学させて良かった。 (昨年度)	70.8%	24.5%	3.7%	1.0%	3.65 (3.63)	67.0%	28.0%	4.2%	0.8%	3.61 (3.61)	72.0%	23.8%	3.1%	1.1%	3.67 (3.56)	73.8%	21.5%	3.8%	0.9%	3.68 (3.71)

4 : そう思う

3 : どちらかといえば、そう思う

2 : どちらかといえば、そう思わない

1 : そう思わない